

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項により実施する。
- 2 招集について
 競技者は必ず、招集所（100mスタート側倉庫裏）でコールを済ませた後、第4コーナー外側のテントで待機すること。コールに遅れたものは欠場とみなし、競技に出場できない。

競 技 種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始15分前	競技開始10分前
リレー競技	競技開始30分前	競技開始15分前
フィールド競技	競技開始40分前	競技開始30分前

- 3 トラック競技は次の要領で行う。
 - (1) スタート合図は、英語とする。
 - (2) スタートは、同じ競技者が2回不正スタートをした場合にその競技者を失格とするが、オープンとして走らせる。また、トラック競技におけるスタート時の発声を禁止する。
 - (3) スタート方法は、4～6年生はクラウチングスタートとする。スターティングブロックは使用しなくても良い。1～3年生はスタンディングスタートとする。スタンディングスタートの形については特に規定しないが、スタートラインに立った状態から、「セット」で静止できればよいものとする。スターティングブロックは使用しない。
 - (4) 4×100mRは、リレーオーダー用紙を当該招集完了時刻1時間前までに、競技者係に提出すること。オーダー用紙は招集所に用意する。
 - (5) 4×100mRは、出場するメンバーのうち、少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。
 - (6) 4×100mRにおけるテイクオーバーゾーンの距離は30mである。テイクオーバーゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
 - (7) 4×100mRに出場する選手のユニフォームは、原則としてチーム全選手とも同一デザインとする。
 - (8) 4×100mRでは、レース終了後に次走者がつけたマーカ―を前走者が必ず回収する。
 - (9) 80mハードルは高さ70cm、台数9台で実施する。インターバルの規定は下記の通りとする。

スタートから第1ハードル	インターバル	最終ハードルからゴール
13m	7m	11m

- (10) 4～6年生の100mは、タイムレースで予選を行い、上位8名で決勝を行う。
- 4 フィールド競技は次の要領で行う。

- (1) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとし、背や腰などからの着地は無効試技とする。判定は競技役員に従う。
- (2) 走高跳のバーの上げ方は下表のとおりとし、3回続けて失敗した時点で終了とする。

区分	練 習	試			技
男女	1m00	1m05	1m10	1m15	以降3cm刻みで上げる

- (3) 走幅跳とジャベリックボール投は3回の試技とする。
- (4) 走幅跳はスタンド側をAピット、トラック側をBピットとする。
- (5) ジャベリックボール投は、主催者が用意したジャベボールを使用する。試技は、やり投ピットを使用し、助走距離15m以内で、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げること。
- 5 スパイクシューズのピンは9mm以下を使用すること。
- 6 競技者の競技場への入退場は、競技役員の手配による。
- 7 各種目1位から6位までに賞状を授与する。
- 8 競技場内へは当該競技者及び当該競技役員以外立ち入ることはできない。

ゴミの持ち帰りの徹底を各クラブにてお願いいたします。